

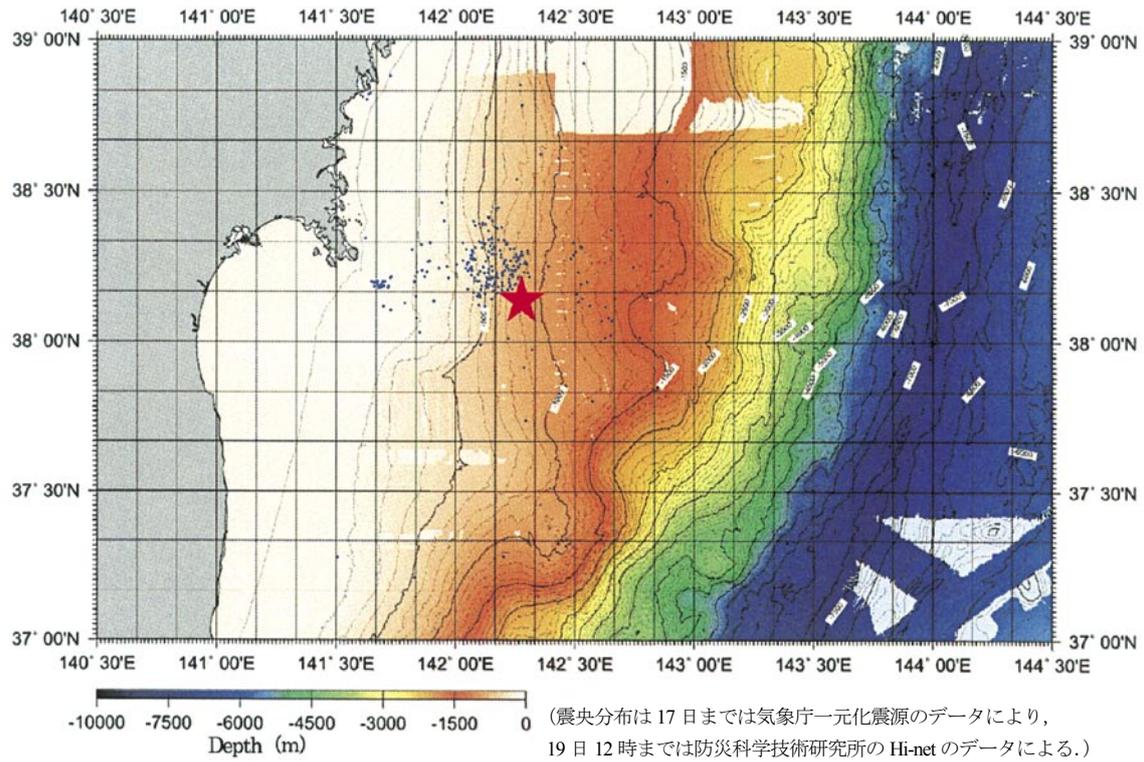
### 3 - 14 宮城県沖の地震の震央付近の海底地形と海底面の断層

#### **Bathymetry and faults on the sea floor around the epicenter of the earthquake off Miyagi Prefecture**

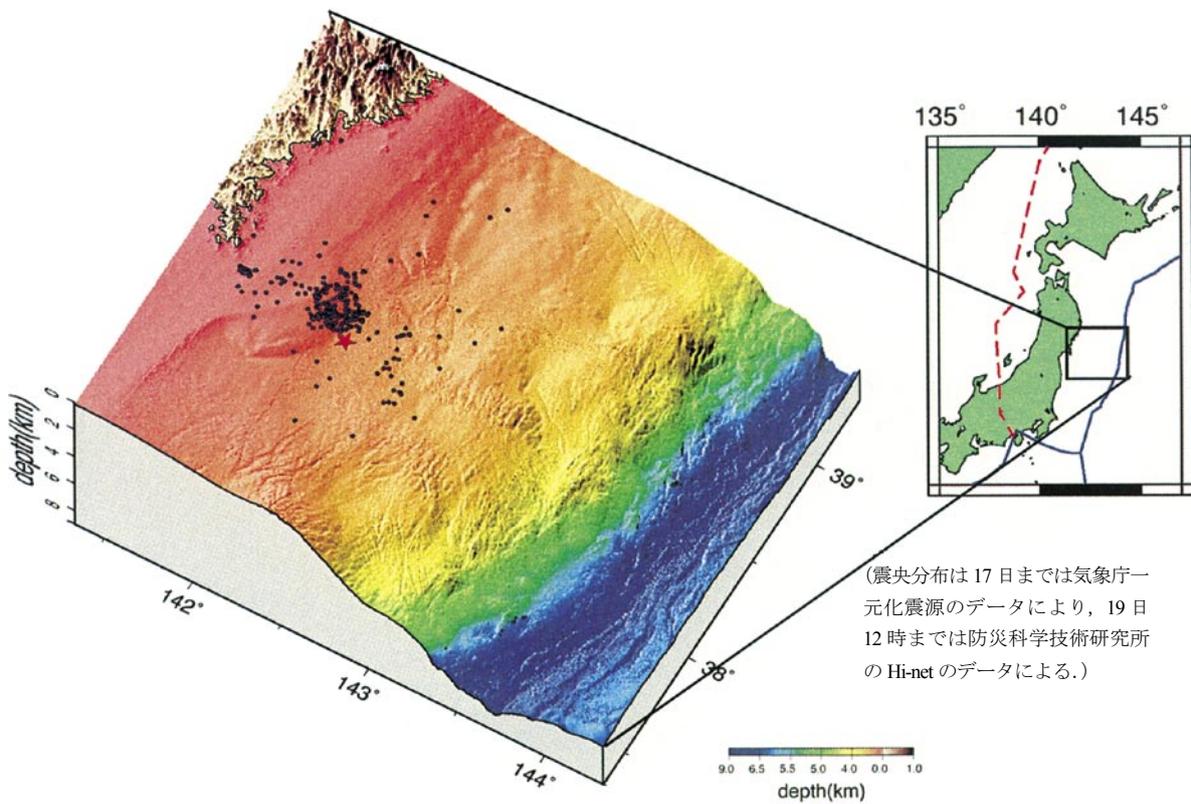
海上保安庁海洋情報部

Hydrographic and Oceanographic Department, Japan Coast Guard

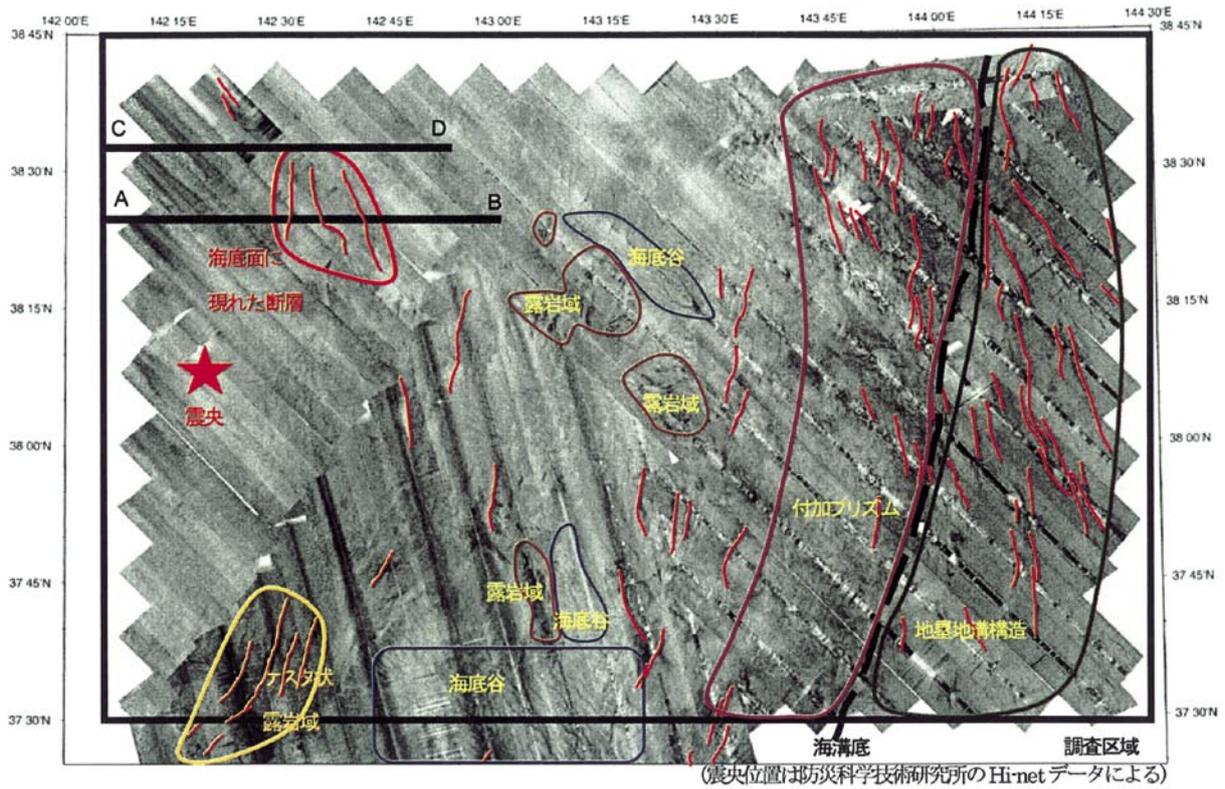
2005年8月16日宮城県沖の地震の震央は、金華山東南東沖の水深約900mの海底に位置する（第1図、第2図）。深海用サイドスキャンソナー「アンコウ」の記録の解析結果から、震央近傍は海底からの反射強度が弱く、露岩域や断層状のリニアメントが見られない比較的平坦な海底である（第3図）。震央北側のAB測線のシングルチャンネル反射法地震波探査記録の解析結果から、測線右側に外縁隆起帯の基盤の高まりが存在し、測線の中程に海底面に変位を与えている断層が3本（赤破線）存在する（第4図）。



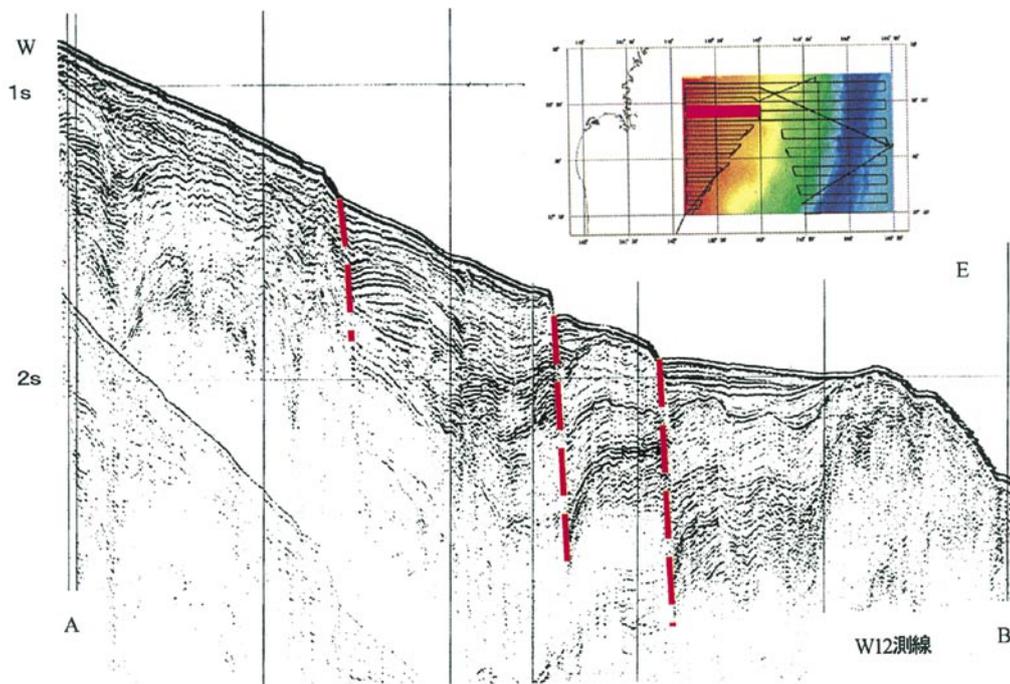
第1図 海底地形と震央分布  
 Fig.1 Bathymetry and epicenter distribution



第2図 震央分布と3次元海底地形  
 Fig.2 Bathymetric image and epicenter distribution



第3図 海底音響画像と判読した海底面の状態  
 Fig.3 Side-scan sonar image and features on the sea floor



第4図 AB測線のシングルチャンネル反射法地震波探査記録  
 Fig.4 Single channel seismic reflection profile on the A-B survey line